

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
教育心理学特論		橋本 多恵	講義	2	前期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	幼児の発達特性に適切な教育方法、幼稚園での知的教育の在り方、動機づけのメカニズム、人格の発達と問題行動、保育カウンセリングと心の教育などに関する心理学的知識と技術の基礎を身につける。				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	発達とは(1)	子どもの発達状況(親子関係など)の理解			
2	発達とは(2)	認知・言語の発達理解			
3	知的発達と知的教育	幼児の知的発達、知能、知的教育についての心理学的理解			
4	学習意欲と動機づけ	好奇心と意欲の発達、および応答的保育のメカニズムの理解			
5	人格の発達と変容	乳幼児の個性と性格の発達、その背後にある相乗的相互作用のメカニズムに関する理解			
6	特別な支援の必要な子の保育(1)	発達障害に関する基礎知識の理解			
7	特別な支援の必要な子の保育(2)	発達障害をもった子の保育の方法についての心理学的な理解			
8	保育カウンセリング:理論	カウンセリング・マインド、共感的理解についての実践的な知識			
9	保育カウンセリング:実践	保護者との相談場面を想定したロールプレイ、及び共感的理解についての体験的理解			
10	保育カウンセリング:まとめ	保護者のタイプ・適切な対応法についての理解			
11	心の教育:理論(1)	幼児の道徳的な心の発達、幼児期の道徳教育の方法についての理解			
12	心の教育:理論(2)	子どもとの信頼関係づくりや悩む子どもとかかわるときのポイントについての理解			
13	幼児期の心の教育:実践	幼児間のいざこざ場面を想定した教師の働きかけのロールプレイ、及び幼児の道徳発達に寄与する教師の役割についての体験的理解			
14	幼小連携の心理学	幼小の接続に関連する親と幼児の心理、及び幼小連携の在り方についての理解			
15	保育の心理学	保育の実践の観点から整理する教育心理学の成果			
参 考 書	古川 聡編著「教育心理学をきわめる 10 のチカラ」福村出版 2011 荒木紀幸編著「教育心理学の最先端」あいら出版 2007				
学習上の注意(自己学習、学外学習など)	講義形式を基本とするが、個人発表と集団討議も同程度に取り入れる。				
評価の方法と時期	出席、個人発表、レポート、集団討議への参加度(観察記録)を総合的に判断する。また、形成的評価を用いる。				